

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば四日市いくわ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 12日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年 1月 12日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援や活動に関する情報共有と振り返り、改善案の話し合いと実施	毎日のミーティング時などに密に情報共有を行い、日々改善を試みている。	支援内容に関する話し合いをより丁寧に行い、職員全員が共通理解を持って支援に臨めるようにする。
2	個々の状況に応じた対応と安全面や環境面の工夫	食物アレルギーや体調・体質などの身体面、その日の様子など利用者様の個々の状況に合わせ個別の対応を行うとともに、安全面に配慮してその都度環境設定を行っている。	引き続き、保護者様との連携、職員間の情報共有を大切にしながら個々に合わせた支援ができるよう心がけていく。
3	子どもたち一人ひとりの様子に合わせて、全員が参加しやすい活動を提案・実施している	子どもたちが達成感を味わいながら楽しく活動に取り組むことができるよう、子どもたち一人ひとりの得意・不得意や目標、その日の調子に合わせて活動内容を調整している。	子どもたちがより多くの活動に取り組み経験を重ねていくことができるよう、活動内容のバリエーションを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、安全計画、事業所の支援プログラムや訓練の実施などに関する保護者様への周知が不十分であること	マニュアル等は契約時以降説明する機会が少ないこと、訓練日に利用がない利用者様に対する実施後の周知が難しいこと	面談時などの機会に改めて周知を行う。ブログ、SNSを通じて利用者様全体にマニュアル等や訓練の周知ができるようにする
2	子どもたちの意見を取り入れた活動を実施することが難しい	年齢、障がいの程度が様々であるため子どもたちが希望する活動を実施することが難しい場合が多い。	可能な限り全員が参加しやすい方法を考えながら、子どもたちの意見を取り入れた活動を実施できるようにする。
3	個別対応が必要な利用者様が多い日は他の利用者様への支援が不十分になってしまう	1日の利用者様の中で、その日の調子に応じて個別対応が必要な利用者様が多くなると、他の利用者様への支援が十分に行き届かなくなってしまう。	日々の支援の中で職員間で話し合いを重ね、安全面を最優先に、効率的かつより適した支援方法を検討・実践していけるように努める。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば四日市いくわ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 12日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R8年 1月 12日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援や活動に関する情報共有と振り返り、改善案の話し合いと実施	毎日のミーティング時などに密に情報共有を行い、日々改善を試みている。	支援内容に関する話し合いをより丁寧に行い、職員全員が共通理解を持って支援に臨めるようにする。
2	個々の状況に応じた対応と安全面や環境面の工夫	食物アレルギーや体調・体質などの身体面、その日の様子など利用者様の個々の状況に合わせ個別の対応を行うとともに、安全面に配慮してその都度環境設定を行っている。	引き続き、保護者様との連携、職員間の情報共有を大切にしながら個々に合わせた支援ができるよう心がけていく。
3	子どもたち一人ひとりの様子に合わせて、全員が参加しやすい活動を提案・実施している	子どもたちが達成感を味わいながら楽しく活動に取り組むことができるよう、子どもたち一人ひとりの得意・不得意や目標、その日の調子に合わせて活動内容を調整している。	子どもたちがより多くの活動に取り組み経験を重ねていくことができるよう、活動内容のバリエーションを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、安全計画、事業所の支援プログラムや訓練の実施などに関する保護者様への周知が不十分であること	マニュアル等は契約時以降説明する機会が少ないこと、訓練日に利用がない利用者様に対する実施後の周知が難しいこと	面談時などの機会に改めて周知を行う。ブログ、SNSを通じて利用者様全体にマニュアル等や訓練の周知ができるようにする
2	子どもたちの意見を取り入れた活動を実施することが難しい	年齢、障がいの程度が様々であるため子どもたちが希望する活動を実施することが難しい場合が多い。	可能な限り全員が参加しやすい方法を考えながら、子どもたちの意見を取り入れた活動を実施できるようにする。
3	個別対応が必要な利用者様が多い日は他の利用者様への支援が不十分になってしまう	1日の利用者様の中で、その日の調子に応じて個別対応が必要な利用者様が多くなると、他の利用者様への支援が十分に行き届かなくなってしまう。	日々の支援の中で職員間で話し合いを重ね、安全面を最優先に、効率的かつより適した支援方法を検討・実践していきけるように努める。